



TAMRON[®]

産業の眼を創造貢献するタムロン

2015年12月期 第2四半期決算説明会

2015年8月7日(金)

株式会社タムロン (証券コード:7740)

I. 第2四半期決算概要

1. 事業概要	P.4
2. 2015年上期総括	P.5
3. 2015年上期業績	P.6
4. 利益変動要因	P.7
5. 2015年セグメント別上期業績	P.8
6. 2015年セグメント別四半期別業績	P.9

II. 通期予想

1. 2015年通期予想	P.11
2. 2015年売上高・営業利益予想	P.12
3. 2015年セグメント別通期予想	P.13
4. 2015年セグメント別予想	
①写真関連事業	P.14
②レンズ関連事業	P.15
③特機関連事業	P.16

III. 財務状況

1. 財政状態	P.18
2. 設備投資、減価償却費	P.19
3. 研究開発費	P.20
4. たな卸資産、有利子負債	P.21
5. キャッシュ・フロー	P.22
6. 自己株式の取得及び消却	P.23
7. 配当金の推移	P.24
8. 参考データ	
①主要経営指標	P.25
②為替感応度	P.26

IV. 中期戦略

1. ブランドメッセージ	P.28
2. 中期目標(2017年)	P.28
3. 2017年セグメント別中期目標	
①写真関連事業	P.29
②レンズ関連事業	P.30
③特機関連事業	P.31
4. 生産体制の強化について	P.32

I . 決算概要

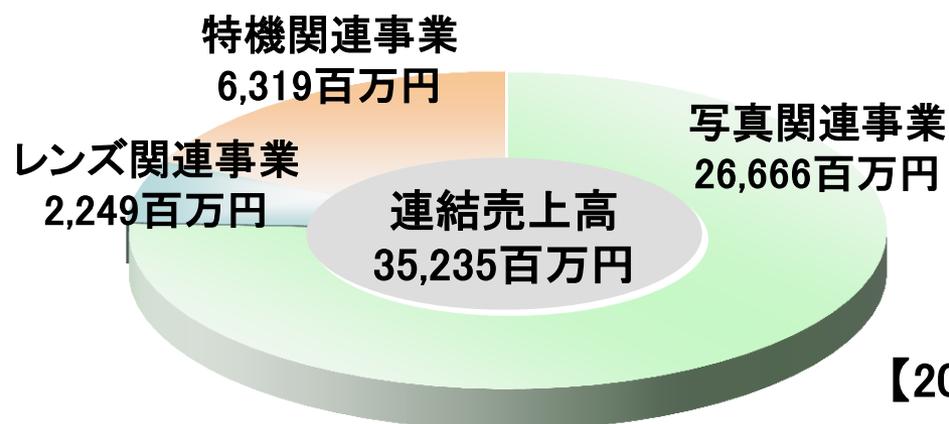
I - 1. 事業概要

【会社情報】

- ❖ グループ会社(連結子会社): 9社
- ❖ 国内事業所数: 4 / 営業拠点: 5
- ❖ ISO9001、ISO14001 認証取得
ISO/TS16949 認証取得
- ❖ 連結売上高: 35,235百万円(15年上期)
- ❖ 連結従業員数: 5,994人(15年6月末現在)
- ❖ 連結総資産: 67,408百万円(15年6月末現在)

【事業内容】

- ❖ 写真関連事業
レンズ交換式カメラ用交換レンズ
(一眼レフ・ミラーレス)
- ❖ レンズ関連事業
ビデオカメラ用レンズ
デジタルカメラ用レンズ
遠赤外線カメラ用レンズ
各種光学用デバイス部品等
- ❖ 特機関連事業
監視カメラ用レンズユニット
監視カメラ
車載用レンズ
原器



【2015年上期 事業セグメント別売上高】

I -2. 2015年 上期総括

【 経 営 環 境 】

- ❖ 世界経済は、欧州経済に不透明感があったものの、総じて緩やかな回復基調で推移
- ❖ 前年同期に対し、ドルは円安、ユーロは円高基調で推移
- ❖ デジタルカメラ市場 ⇒レンズ交換式は、台数ベースは微減、金額ベースでは微増
レンズ一体型は、台数ベースで約2割減と市場縮小継続

【 当 社 実 績 】

- ❖ 連結業績⇒売上高は、自社ブランド好調及び円安ドル高のプラス影響により、増収達成
⇒利益面は、円高ユーロ安等による為替のマイナス影響を受けるも、増益達成
四半期純利益は、負ののれん発生益等の計上により、約1.5倍増
- ❖ 写真関連事業は、前年投入の新製品の寄与等により、2ケタの増収増益(利益は約3割増)

【 ト ピ ッ ク ス 】

- ❖ 実質的な自己株式の取得、及び自己株式の消却(消却前の発行済株式数の5.64%)を実施
⇒株式価値及び資本効率が向上(2015年ROE見込み: 7.9%⇒9.4%)
- ❖ 中間配当金は、5円増配となる25円を実施

I -3. 2015年 上期業績

(単位:百万円)

	2014年 上期実績	2015年 上期計画	2015年 上期実績	増減 (対前年上期)		増減 (対計画)		為替影響額 (対前年上期)
				額	率	額	率	
売上高	32,770	36,200	35,235	2,464	107.5%	△964	97.3%	+24.5億円
営業利益	2,565	2,800	2,764	199	107.8%	△35	98.7%	△6.5億円
営業利益率	7.8%	7.7%	7.8%	±0.0%	-	0.1%	-	
経常利益	2,638	2,700	2,819	180	106.9%	119	104.4%	
経常利益率	8.1%	7.5%	8.0%	△0.1%	-	0.5%	-	
四半期純利益	1,820	2,550	2,678	857	147.1%	128	105.0%	

❖ 四半期純利益計画は、第1四半期決算発表時に、負ののれん発生益等の計上により、19億円から25.5億円に上方修正

I -4. 利益変動要因 対2014年上期実績

(単位:百万円)

	2014年 上期実績	2015年 上期実績	増 減 (対前年上期)		変動要因
			金額	率	
売上高	32,770	35,235	2,464	107.5%	為替影響 + 24.5億円 売上増減 ± 0億円 <hr/> + 24.5億円
営業利益	2,565	2,764	199	107.8%	為替影響 △ 6.5億円 コストダウン + 3.0億円 その他 + 5.5億円 <hr/> + 2.0億円

I -5. 2015年 セグメント別上期業績

(単位:百万円)

		2014年 上期実績	2015年 上期計画	2015年 上期実績	増減 (対前年上期)		増減 (対計画)		為替 影響額 対前年 上期
					金額	率	金額	率	
写真関連 事業	売上高	23,090	26,200	26,666	3,576	115.5%	466	101.8%	14.0億円
	営業利益	2,311	2,700	3,059	748	132.4%	359	113.3%	△7.5億円
	営業利益率	10.0%	10.3%	11.5%	1.5%	-	1.2%	-	-
市場は本格回復とはならずも、主要市場全てで現地通貨ベースで増収となり、増収増益達成。売上・利益とも計画達成。									
レンズ関連 事業	売上高	3,518	2,900	2,249	△1,269	63.9%	△650	77.6%	3.0億円
	営業利益	260	200	111	△149	42.8%	△88	55.8%	0.5億円
	営業利益率	7.4%	6.9%	5.0%	△2.4%	-	△1.9%	-	-
コンパクトデジタルカメラ、ビデオカメラ共に市場縮小が継続し、減収減益。									
特機関連 事業	売上高	6,161	7,100	6,319	157	102.6%	△780	89.0%	7.5億円
	営業利益	1,147	1,100	752	△394	65.6%	△347	68.4%	0.5億円
	営業利益率	18.6%	15.5%	11.9%	△6.7%	-	△3.6%	-	-
監視カメラ用レンズの中国市場での低迷や新機種開発注力のコスト増等により減益も、車載事業の売上拡大もあり増収。									
消去又は全社		△1,153	△1,200	△1,159	△5	-	40	-	-
合計	売上高	32,770	36,200	35,235	2,464	107.5%	△964	97.3%	24.5億円
	営業利益	2,565	2,800	2,764	199	107.8%	△35	98.7%	△6.5億円

I -6. 2015年 セグメント別四半期別業績

(単位:百万円)

		2015年 第1四半期実績	2015年 第2四半期実績	2015年 上期実績
写真関連 事業	売上高	12,495	14,171	26,666
	営業利益	1,668	1,391	3,059
	営業利益率	13.4%	9.8%	11.5%
レンズ関連 事業	売上高	1,080	1,168	2,249
	営業利益	89	22	111
	営業利益率	8.2%	1.9%	5.0%
特機関連 事業	売上高	3,241	3,077	6,319
	営業利益	393	358	752
	営業利益率	12.1%	11.7%	11.9%
消去又は全社		△570	△589	△1,159
合計	売上高	16,818	18,417	35,235
	営業利益	1,581	1,183	2,764

Ⅱ. 2015年予想

Ⅱ-1. 2015年 通期予想

(単位:百万円)

	2014年 通期実績	2015年 上期実績	2015年 下期予想	2015年 通期予想	増減 (対前年通期)	
					額	率
売上高	73,621	35,235	43,264	78,500	4,878	106.6%
営業利益	6,076	2,764	3,835	6,600	523	108.6%
営業利益率	8.3%	7.8%	8.9%	8.4%	0.1%	-
経常利益	6,200	2,819	3,580	6,400	199	103.2%
経常利益率	8.4%	8.0%	8.3%	8.2%	△0.2%	-
当期純利益	3,846	2,678	2,171	4,850	1,003	126.1%

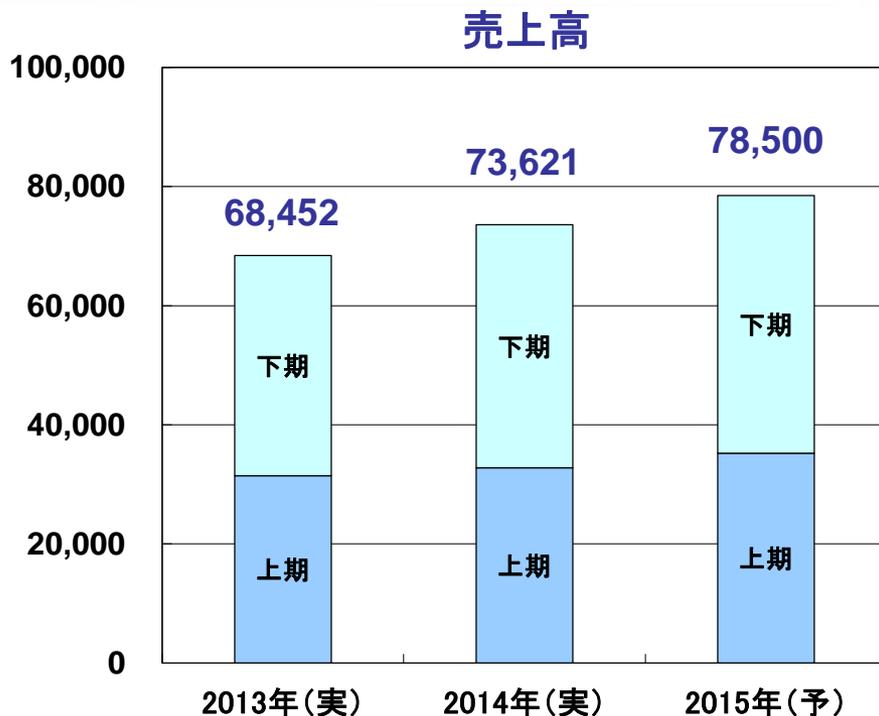
※ 当期純利益計画は、第1四半期決算発表時に、負ののれん発生益等の計上により、42億円から48.5億円に上方修正

【通期見通し】

※ 上期実績は概ね計画通りで推移し、通期予想は据え置き。新製品を順次投入し、増収増益を目指す。

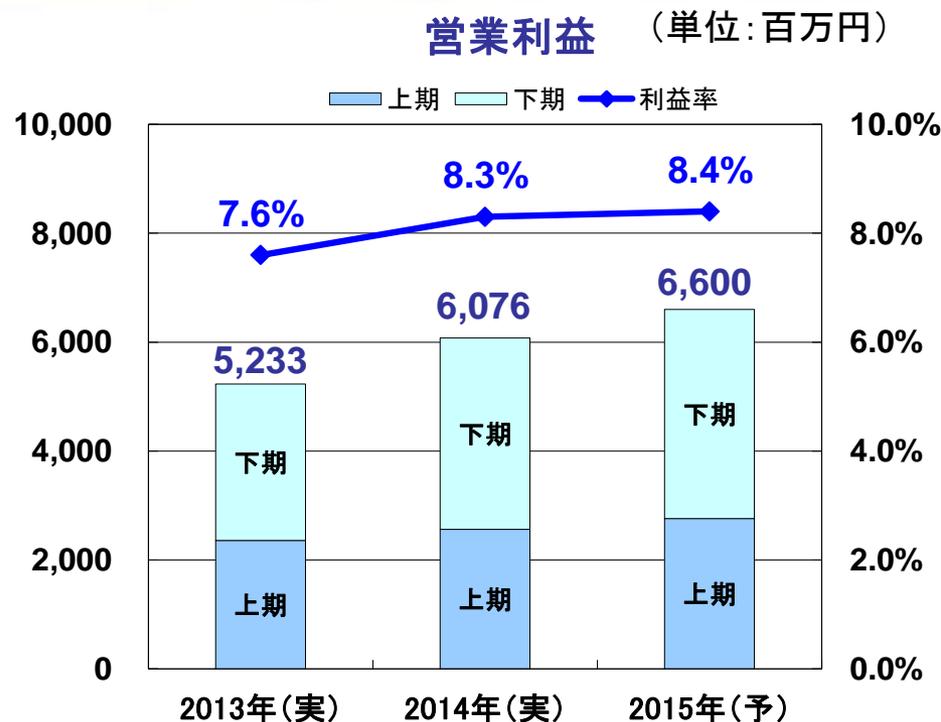
※ 下期の為替前提は、1米ドル=120円(期初:1米ドル=115円)、1ユーロ=135円(期初から変更無し)。

Ⅱ-2. 2015年 売上高・営業利益予想



上期	31,453	32,770	35,235
下期	36,999	40,850	43,264
通期	68,452	73,621	78,500
前期比	106.4%	107.6%	106.6%

* (実):実績 * (予):予想



上期	2,360	2,565	2,764
下期	2,872	3,510	3,835
通期	5,233	6,076	6,600
利益率	7.6%	8.3%	8.4%
前期比	95.1%	116.1%	108.6%

II-3. 2015年 セグメント別通期予想

(単位:百万円)

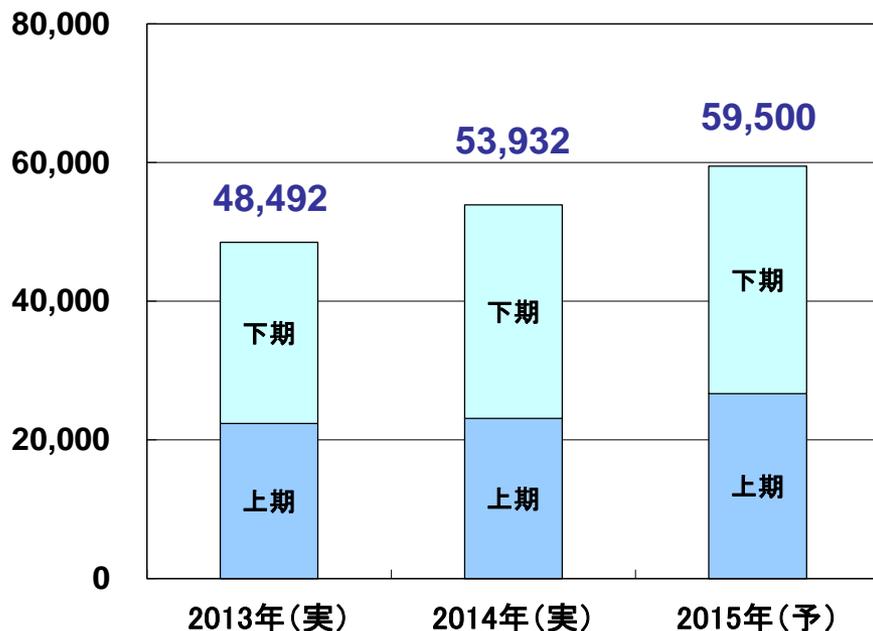
		2014年 通期実績	2015年 期初計画	2015年 修正計画	増減 (対前年通期)		増減 (対期初計画)	
					金額	率	金額	率
写真関連 事業	売上高	53,932	56,900	59,500	5,567	110.3%	2,600	104.6%
	営業利益	5,853	6,400	7,200	1,346	123.0%	800	112.5%
	営業利益率	10.9%	11.2%	12.1%	1.2%	-	0.9%	-
レンズ関連 事業	売上高	7,032	6,200	4,700	△2,332	66.8%	△1,500	75.8%
	営業利益	664	500	300	△364	45.2%	△200	60.0%
	営業利益率	9.4%	8.1%	6.4%	△3.0%	-	△1.7%	-
特機関連 事業	売上高	12,656	15,400	14,300	1,643	113.0%	△1,100	92.9%
	営業利益	2,190	2,400	1,700	△490	77.6%	△700	70.8%
	営業利益率	17.3%	15.6%	11.9%	△5.4%	-	△3.7%	-
消去又は全社		△2,632	△2,700	△2,600	32	-	100	-
合計	売上高	73,621	78,500	78,500	4,878	106.6%	0	100.0%
	営業利益	6,076	6,600	6,600	523	108.6%	0	100.0%

❖ 上期実績及び直近の下期見込を考慮し、各セグメントの売上高・営業利益を修正

(連結売上高・営業利益は修正なし)

Ⅱ-4. 2015年 セグメント別予想 ①写真関連事業

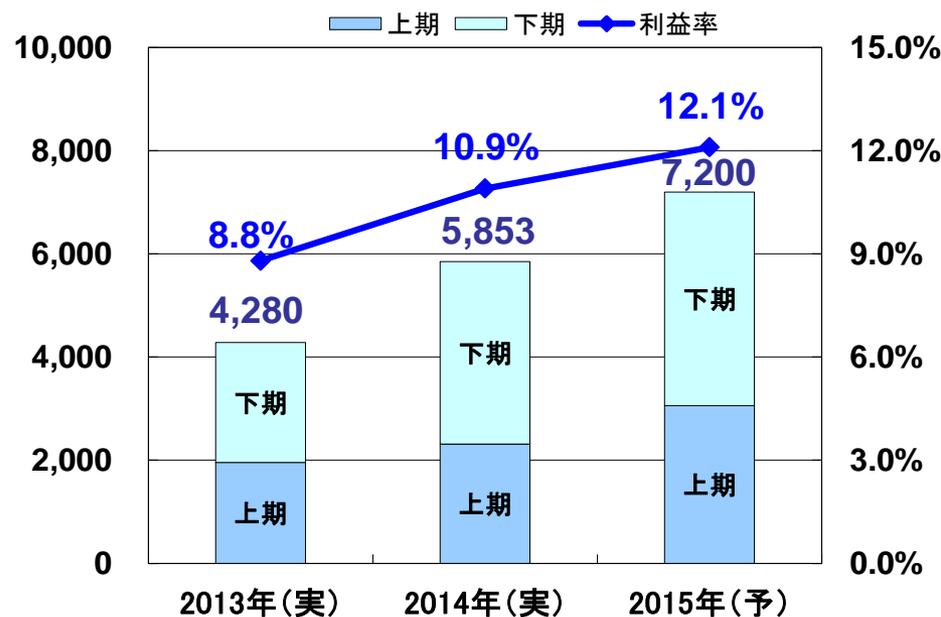
売上高



上期	22,380	23,090	26,666
下期	26,111	30,842	32,833
通期	48,492	53,932	59,500
前期比	103.4%	111.2%	110.3%

* (実): 実績 * (予): 予想

営業利益 (単位: 百万円)

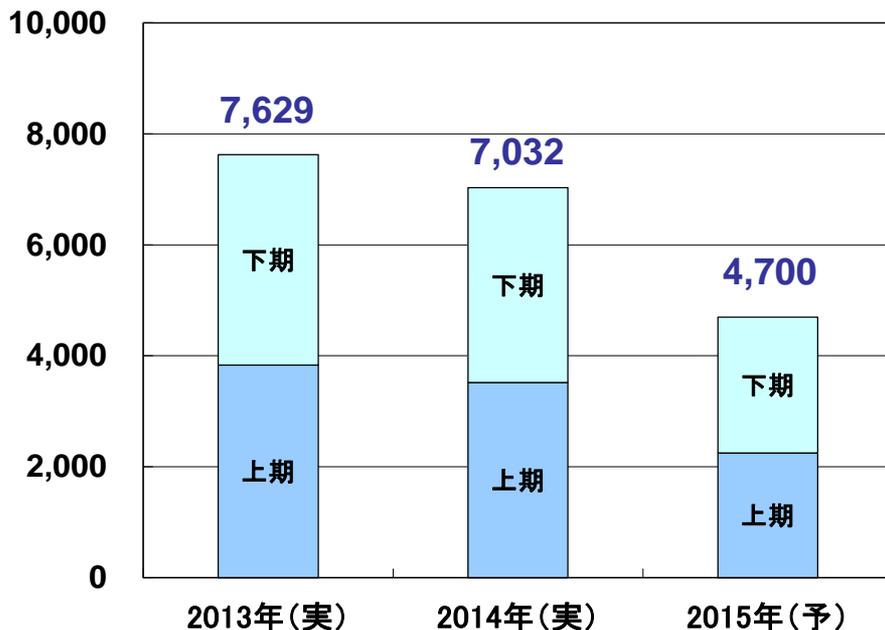


上期	1,956	2,311	3,059
下期	2,324	3,542	4,140
通期	4,280	5,853	7,200
利益率	8.8%	10.9%	12.1%
前期比	71.8%	136.7%	123.0%

※上期の計画過達、及び下期の自社ブランド新製品の投入を考慮し、2ケタの増収増益を目指す。

Ⅱ-4. 2015年 セグメント別予想 ②レンズ関連事業

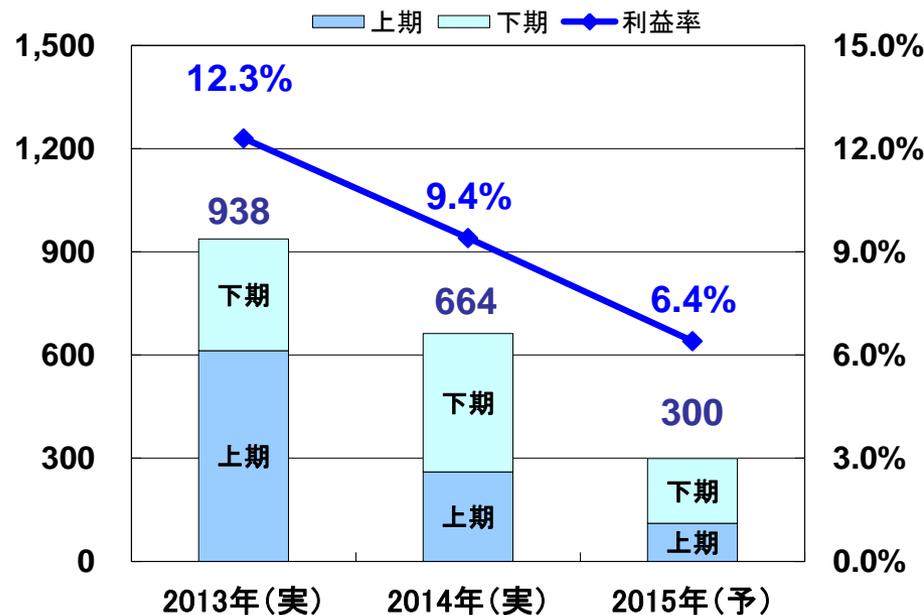
売上高



上期	3,833	3,518	2,249
下期	3,795	3,513	2,450
通期	7,629	7,032	4,700
前期比	92.2%	92.2%	66.8%

* (実):実績 * (予):予想

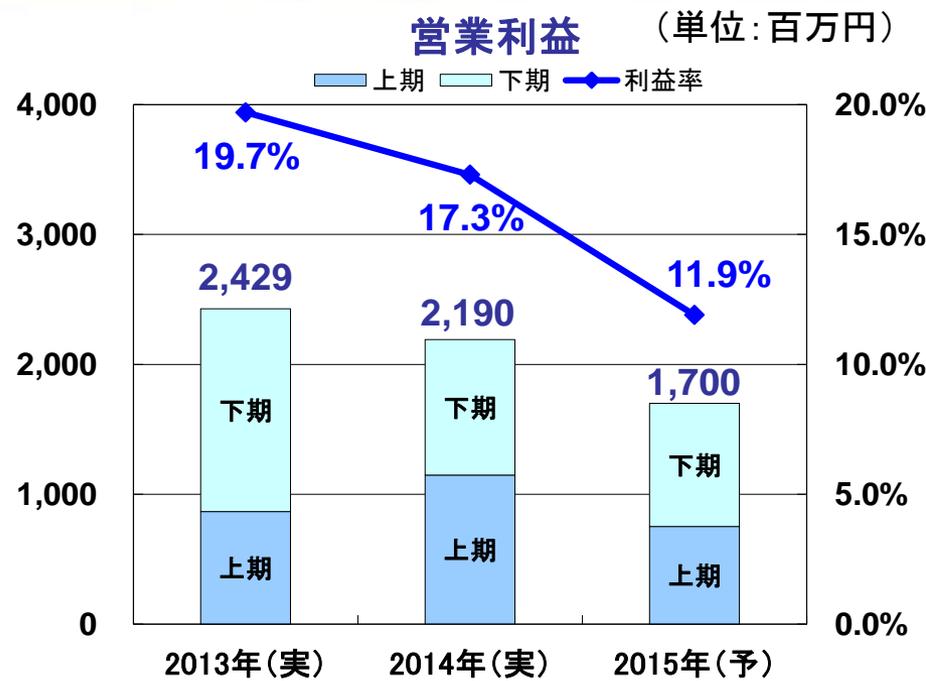
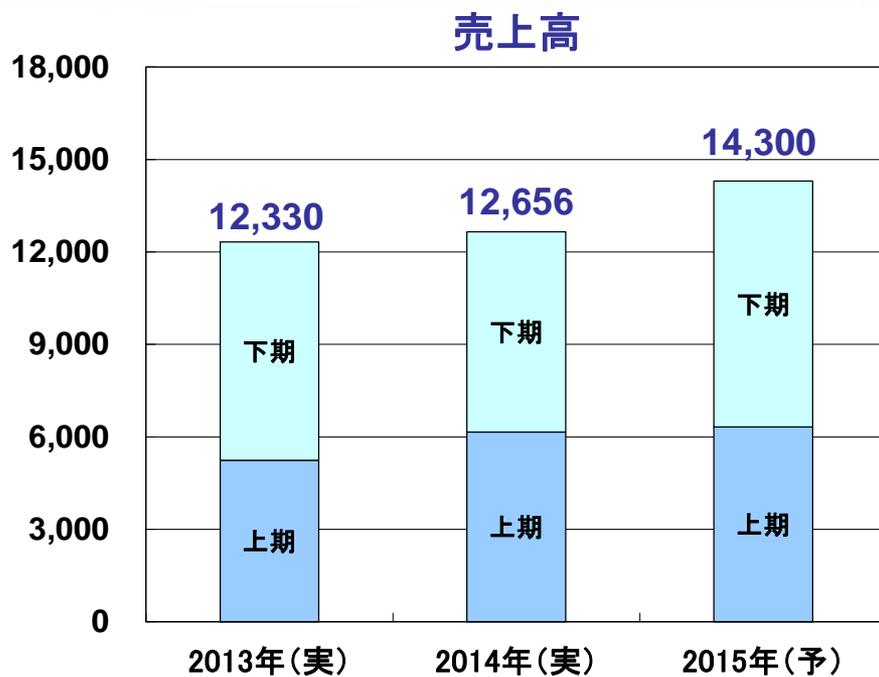
営業利益 (単位:百万円)



上期	613	260	111
下期	325	403	188
通期	938	664	300
利益率	12.3%	9.4%	6.4%
前期比	207.4%	70.8%	45.2%

❖ 厳しい市場環境の継続が予想されるため、減収減益を見込むが、新たなマーケット、顧客開拓に注力。

Ⅱ-4. 2015年 セグメント別予想 ③特機関連事業



	2013年(実)	2014年(実)	2015年(予)
上期	5,239	6,161	6,319
下期	7,091	6,494	7,980
通期	12,330	12,656	14,300
前期比	134.6%	102.6%	113.0%

	2013年(実)	2014年(実)	2015年(予)
上期	866	1,147	752
下期	1,563	1,043	947
通期	2,429	2,190	1,700
利益率	19.7%	17.3%	11.9%
前期比	152.2%	90.2%	77.6%

* (実):実績 * (予):予想

❖ 監視カメラ用レンズの中国市場での競争激化の影響や、今後を見据えた新機種開発注力によるコスト増等により減益を見込むも、その他地域での販売増や車載事業の売上成長等により、増収を見込む。

Ⅲ. 財務状況

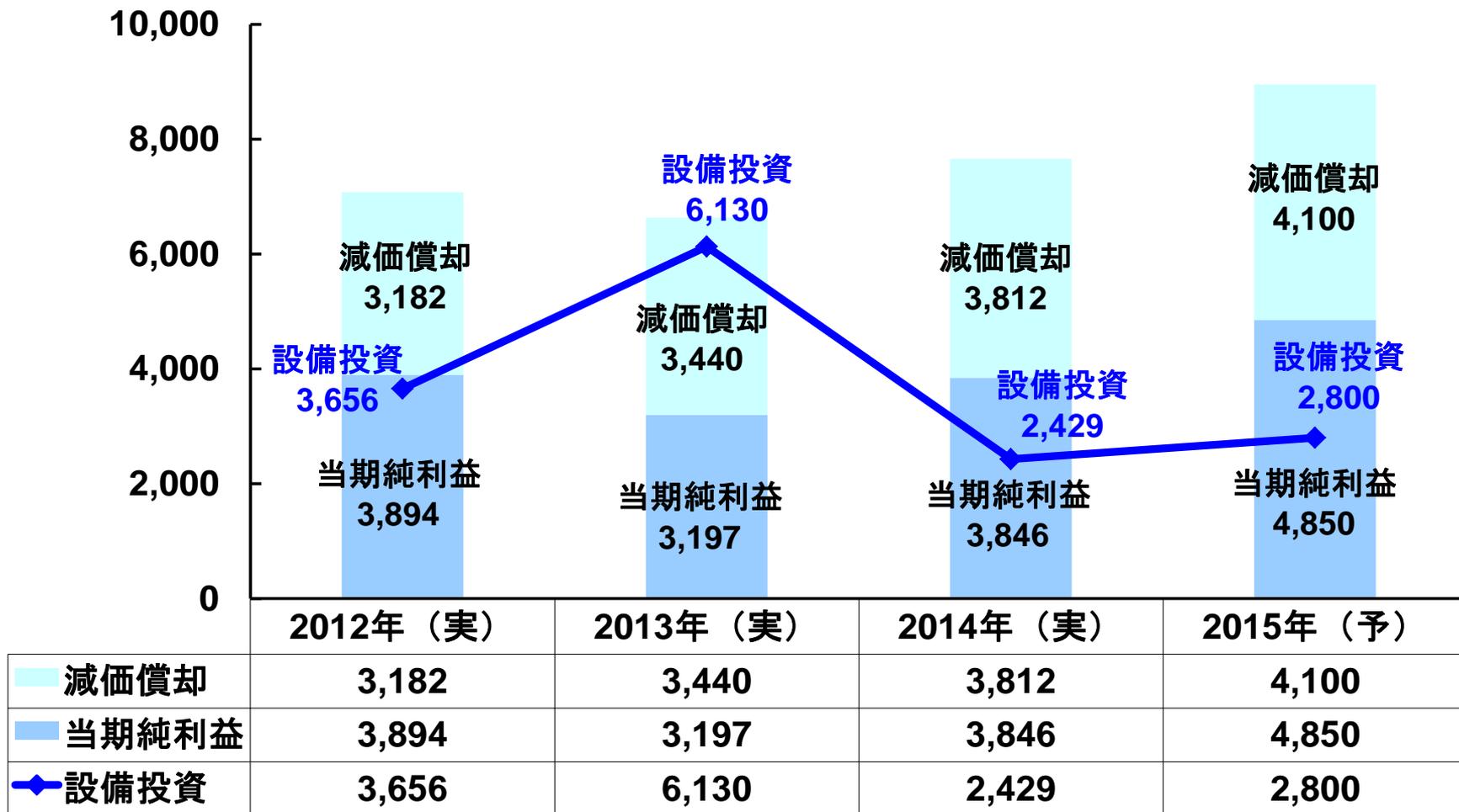
Ⅲ-1. 財政状態

(単位:百万円)

	2014年 6月末	2014年 12月末	2015年 6月末	増減 (対前期末比)	主な増減要因
現金・預金	16,947	15,915	17,875	1,959	
受取手形・売掛金	14,164	18,653	13,962	△4,690	売上の季節的要因
たな卸資産	9,725	10,536	11,260	724	
その他流動資産	1,429	1,849	1,734	△115	
固定資産	21,613	22,950	22,574	△376	大型投資の一巡による 設備投資の減少等
資産合計	63,880	69,906	67,408	△2,498	
流動負債	13,252	14,602	14,550	△52	
固定負債	3,686	3,308	2,852	△455	
負債合計	16,939	17,911	17,403	△507	
純資産合計	46,941	51,995	50,004	△1,990	自己株式の取得及び消却等
負債純資産合計	63,880	69,906	67,408	△2,498	
自己資本比率	73.5%	74.4%	74.2%	△0.2%	

Ⅲ-2. 設備投資額、減価償却費

(単位:百万円)

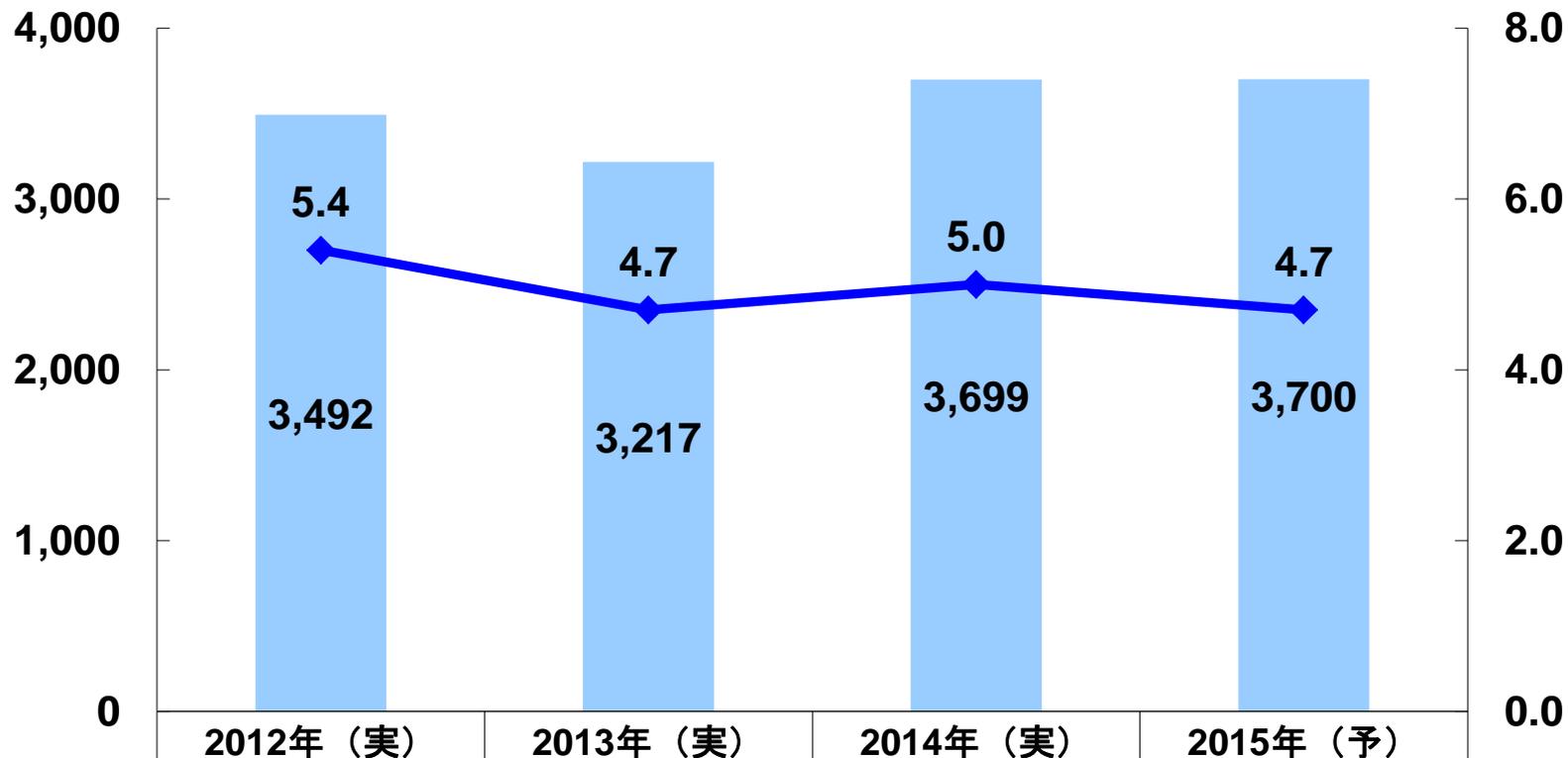


* (実):実績 * (予):予想

Ⅲ-3. 研究開発費

(単位:百万円)

(単位:%)



研究開発費	3,492	3,217	3,699	3,700
率	5.4	4.7	5.0	4.7

* 売上高に対する研究開発費比率

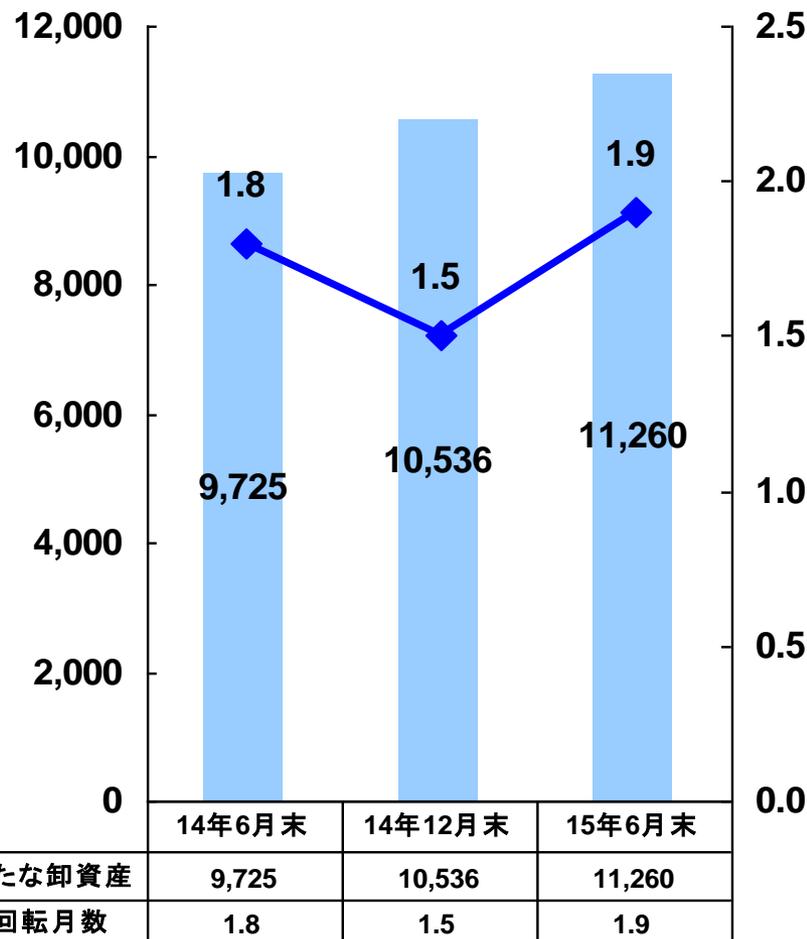
* (実):実績 * (予):予想

Ⅲ-4. たな卸資産、有利子負債

たな卸資産

(単位:百万円)

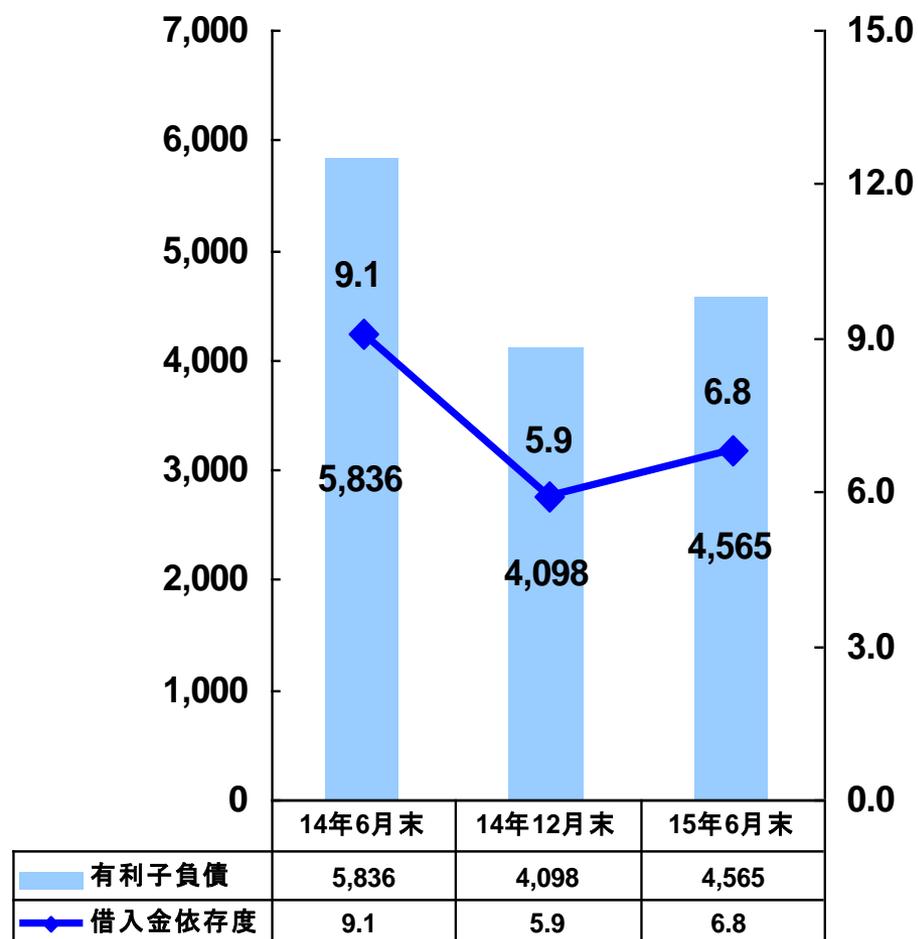
(単位:ヶ月)



有利子負債

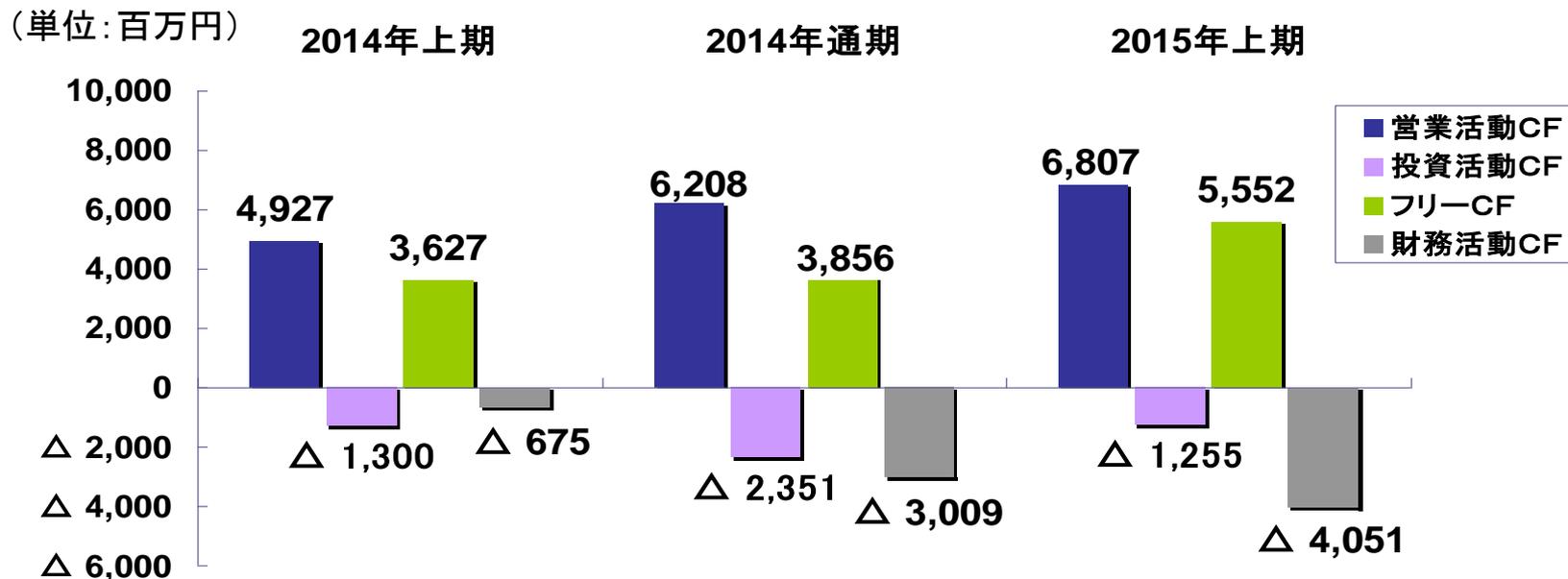
(単位:百万円)

(単位:%)



(直近6ヶ月平均売上で算出)

Ⅲ-5. キャッシュ・フロー



	2014年上期実績	2014年通期実績	2015年上期実績
営業活動CF	4,927	6,208	6,807
投資活動CF	△1,300	△2,351	△1,255
フリーCF	3,627	3,856	5,552
財務活動CF	△675	△3,009	△4,051
現金及び現金同等物の期末残高	16,947	15,915	17,875
手元流動性(ヶ月)	3.10	2.59	3.04

Ⅲ-6. 自己株式の取得及び消却

- (株)宏友興産の子会社化、吸収合併を通じ、当社株式1,529,826株を自己株式として取得
- 取得した自己株式の消却を通じ、株主価値及び資本効率が向上

(株)宏友興産の株式の取得(完全子会社化)

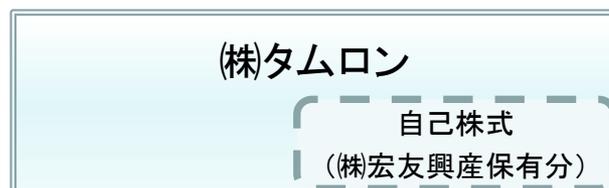
(特定の株主からの自己株式取得に準ずる手続による取得)



※当社株式を1,529,826株保有
(当社発行済株式総数の5.56%)

(株)宏友興産を吸収合併(簡易合併・略式合併)

⇒(株)宏友興産が保有していた当社株式を当社が自己株式として保有



自己株式を消却

⇒1,550,000株(消却前の発行済株式総数の5.64%)を消却

当社発行済株式総数: 27,500,000株⇒25,950,000株

3/31

6/1

6/26

Ⅲ-7. 配当金の推移

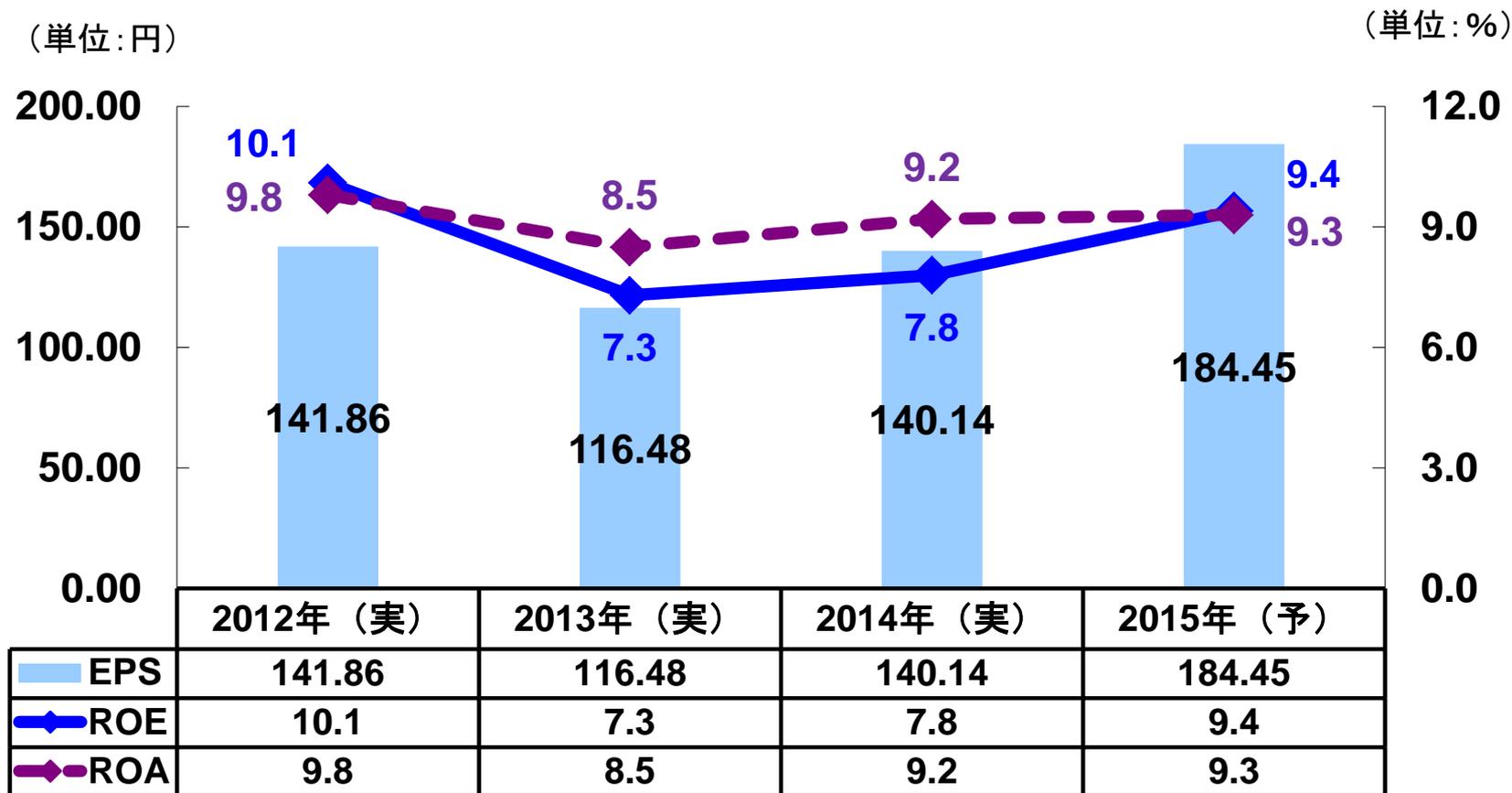
中間配当金は、5円増配の25円を実施。年間配当金は55円の予定。

(単位:円)

	2012年	2013年	2014年	2015年 (予定)
中間	20.00	20.00	20.00	25.00
期末	30.00	30.00	30.00	30.00
合計	50.00	50.00	50.00	55.00
配当性向 (連結ベース)	35.2%	42.9%	35.7%	29.8%

Ⅲ-8. 参考データ

① 主要経営指標



ROE = 当期純利益 / 純資産 (分母は期中平均)

ROA = 経常利益 / 資産合計 (分母は期中平均)

Ⅲ-8. 参考データ

② 為替感応度

(1) 2015年上期実績

	為替レート		影響額	
	2014年上期実績	2015年上期実績	売上高	営業利益
米ドル	102円46銭	120円31銭	+26.0億円	△2.5億円
ユーロ	140円44銭	134円14銭	△3.5億円	△3.0億円
他通貨	-	-	+2.0億円	△1.0億円
合計	-	-	+24.5億円	△6.5億円

(前期実績に対する影響額)

(2) 2015年下期予想

	為替レート	1円の変動(円安)による影響額	
	2015年下期前提	売上高	営業利益
米ドル	120円00銭	+1.5億円	±0億円
ユーロ	135円00銭	+0.6億円	+0.5億円

IV. 中期戦略

産業の眼を創造貢献するタムロン[®]

IV-2. 中期目標(2017年)

売上高: 950億円

営業利益: 95億円 (営業利益率 10%)

ROE: 10%以上

IV-3. 2017年 セグメント別中期目標

① 写真関連事業

売上高：680億円（売上構成比71.6%）

2017年
中期目標

- ❖ 自社ブランドにおける画期的な新製品の順次投入
- ❖ 新製品の立上げ体制の確立
- ❖ 新興国市場の販売体制強化、マーケットシェア拡大
- ❖ ブランド力(性能・デザイン)の向上、潜在需要を呼び起こす施策の強化

新商品

14年6月 発売

マイクロフォーサーズ・
ミラーレス一眼カメラ専用



14-150mm
(Model C001)

ミラーレス一眼カメラ
専用キヤノン用



18-200mm VC
(Model B011)



28-300mm VC PZD
(Model A010)



高倍率ズーム 14年4月発売
16-300mm VC PZD (Model B016)



ワイドズーム 14年12月発売
15-30mm F/2.8 VC USD (Model A012)

戦略新商品



超望遠ズーム 13年12月発売
150-600mm VC USD (Model A011)



標準系ズーム 15年8月20日発売
(クラス最軽量高倍率ズーム)
18-200mm VC (Model B018)

IV-3. 2017年 セグメント別中期目標

② レンズ 関連 事業

売上高：45億円（売上構成比 4.7%）

2017年
中期目標

- ❖ 高付加価値製品に特化、コスト競争回避し、利益確保
- ❖ 得意分野を生かした新たなマーケットの創出
- ❖ 遠赤外線光学系レンズのコストダウンと受注強化
→ 有力カメラメーカーとの共同開発



デジタルカメラ用レンズ、ビデオカメラ用レンズ



オリジナルズームレンズ



遠赤外線カメラ用交換レンズ

IV-3. 2017年 セグメント別中期目標

③ 特機関連事業

売上高：225億円（売上構成比23.7%）

2017年
中期目標

- ❖ 監視カメラ用レンズの技術革新による全世界での販売強化
- ❖ 共創による新事業の推進
- ❖ 屋外監視や夜間監視など新規分野のビジネス強化
- ❖ センシング(画像認識)用途レンズへの注力等による車載関連事業の軌道化
- ❖ 中国市場に対応した開発・販売体制の構築、中国市場向け商品の投入



『Flat Field Mega Pixel Lens』シリーズ



30倍一体型カメラ用ズームレンズ
4.3-129mm F/1.6 (Model DF019)



車載用レンズ

IV-4. 生産体制の強化について

ベトナム工場－順調に生産数量を伸ばし、コスト対応工場へ



項目	現状
従業員数	13年7月稼動:200名⇒15年8月:1,114名
加工工程	レンズ加工、金属加工、組立
生産機種	一眼レフカメラ用交換レンズに加え、 2014年下期からは監視カメラ用レンズも生産

レンズ加工



金属加工



組立



将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2015年12月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。